

個人質問

市民にやさしい憩いの場を...

誠和会 古川 宏史



歩道整備について

二州小学校から国道126号線までの歩道の整備について、どのように行われていくのか、また、いつ頃の完成を予定しているのか伺う。

市長

事業を実施している千葉県印旛地域整備センターに確認したところ、平成20年度に整備手法の検討を行い、現在、県単独事業として、測量及び詳細設計を行っており、あわせて国道126号との交差点についても協議を行い、平成21年度中に地元説明会を予定しているとのこと。事業期間は平成23年度からの5カ年を予定しているとのこと。

たけのこの里について

竹の子掘りの利用者数について伺う。

教育長

利用者数は、平成15年度161人、平成16年度139人、

平成17年度463人、平成18年度364人、平成19年度360人、平成20年度462人、平成21年度695人で、開場年度から利用者数が5倍に増加し、利用者に喜ばれています。

問

年間を通じて利用できるように、外周に桜の木やアジサイを植えて公園化はできないか伺う。

教育長

たけのこの里は敷地全体の約60パーセントが竹林で、約40パーセントが芝生広場と駐車場になっており、竹の子掘りの期間以外については、市民に一般開放しています。なお、たけのこの里には、コブシやキンモクセイがあり、春と秋にそれぞれ花を咲かせ、利用者を楽しんでいただいています。より多くの市民に憩いの場として利用していただくため、アジサイの植栽や芝生部分の木陰に竹を使ったベンチを設置し、利便性の向上を図るとともに、ホームページや広報等に

八街市のPRについて

四木地先に建設をされている北総中央用水の貯水槽に、八街市特産のピーナッツや人参の絵をかいて本市のPRができないか伺う。

市長

調整水槽に絵をかくという提案については、平成16年に滝台地区に建設された12号調整水槽の建設工前にもありました。これについて、建設する水槽は最終的に北総中央用水土地改良区が管理することになり、補修等の経費負担が、受益者である農家の方々に及ぶことから、この計画は実現できませんでした。現在、四木地区に建設の11号調整水槽についても、同様の提案をいただきましたが、滝台地区の12号調整水槽建設時の過程を説明させていただき、ご理解をいただいたところです。

個人質問

農地法改正に伴う活力ある農業づくりをめざして!

誠和会 中田 眞司



八街市のPRについて

新制度の周知徹底について伺う。

農業委員会事務局長

この法改正については、農業者等に新たな農地制度を周知、徹底していかねればならないと認識しており、当委員会では毎年、発行している「農業委員会だより」を通じ、周知を図ってきたいと考えています。

問

農地制度と実務職員の確保及び養成はどのようにしていくのか伺う。

農業委員会事務局長

千葉県農業会議や千葉県等の関係機関の研修会に参加するとともに、事務局内での研修を重ね、養成を図り、適正な事務実施に努めたいと考えています。

問

遊休農地対策として、どのような考えがあるのか伺う。

市長

市内全域の耕作放棄地について

て、一筆ごとに調査を実施したほか、本年1月には「八街市地域耕作放棄地対策協議会」を設立しました。今後は耕作放棄地となった理由や土地所有者の意向など、状況を詳しく調査し、八街市地域耕作放棄地対策協議会としての方向性を検討していきたいと考えています。

問

農地法改正による多彩な農地の利用組織の展開について伺う。

市長

貸借の規制が見直しされ、農業生産法人以外の法人等の参加が、従来に比べ容易になるだけでなく、農村集落においては、農家だけでなく非農家を含めた構成員により、集落営農法人を設立したり、観光と農業の融合を行うNPO法人等の設立が容易になる等、多様な担い手が期待できるものとなりました。

問

校内のいじめに對する学校への指導について伺う。

教育長

中学校には、生徒指導会議に指導主事が出席し、いじめ等の問題行動について情報を共有化し、実態把握に努めるとともに、いじめや問題行動解消のための助言や指導に当たっています。また、小学校には、指導主事の学校訪問の際に、報告のあつたいじめについては、その後の対応を追跡調査し、指導・助言を行っています。

問

学校給食で地場産野菜は食材ベ-

市長

市内全域の耕作放棄地について